

STRICTLY CONFIDENTIAL

PLUGO JOURNAL

MEDIA SHEET

Oct. 2021

0. 株式会社プラグ / PLUGOについて

PLUGO

いつでも簡単に予約できる電気自動車充電スタンドをはじめ、サービス・デザイン・テクノロジーの3つを軸に、モビリティとエネルギーを取り巻くさまざまな事業を展開するチャージングブランドです。

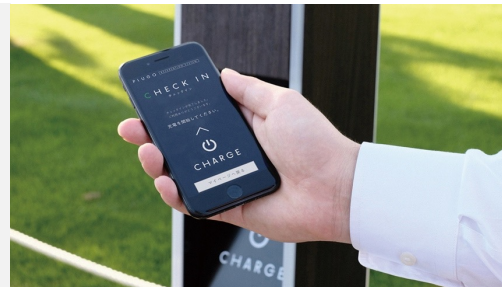
プロダクトとIoTの両輪から生まれる、便利で洗練された体験価値を人と社会に提供することで、電気自動車の普及を後押しし、サステナブルなライフスタイルを積極的に楽しむ「続けたい未来」の創造を目指しています。



PLUGO の特徴

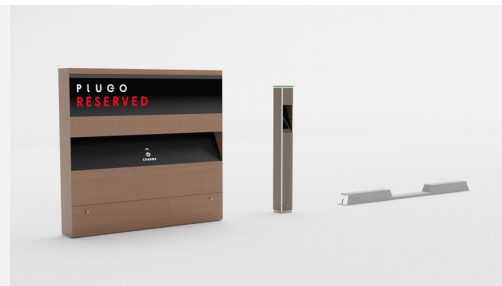
1

オンライン予約・決済可能な
電気自動車充電サービス



2

視覚的なノイズを抑えた
意匠性の高いデザイン



3

すべての充電が
再生可能エネルギー



グリーン充電

Emotional Sustainability

サステナブルという言葉をお口にすると、私たちは少し構えてしまう。

「地球を守るためにやるべきだ」

「良いことだから、ときには我慢も必要だ」

応援したいはずなのに、どこか義務感がつきまとい、

心が置き去りになってしまうことがあります。

でも、持続可能な未来とは、本当は

“続けたい未来”のことなのだと私たちは思います。

心が動く。楽しい。やってみたくなる。

「サステナブルだから」に続くのは、きっとそんな言葉がふさわしい。

“Should”から“Want”へ。

エモーショナルという価値で、サステナブルをカルチャーにする。

感情と未来をつなぐメディア、それがPLUGO JOURNALです

2. 読者像

PLUGO JOURNALの想定する読者は、
**都心部在住で世帯年収が1,200～1,500万円程度の
DINKS**です。

彼ら、彼女らはその豊かな経済環境から生活に困ることはない一方、自分たちを楽しませてくれるもの、自分たちの価値観を変えてくれるものとの出会いをいつも待っています。

また、その情報感度の高さから「新しいライフスタイル」に興味を持っていることも大きな特徴です。

サステナブルをカルチャーとして提供するPLUGO JOURNALが、彼ら、彼女らの求める「**新しいライフスタイル**」を満たします。



3.メディア構成

PLUGO JOURNALは大きく分けて
3つのカテゴリで構成されています。

T R I P

N E W S

P E R S P E C T I V E S

TRIP

鉄道、電気自動車、そして電動キックボードや自転車などに乗り換えながら旅をすることで、「旅の速度を変える」楽しさを伝えていく特集記事です。

旅の過程、そして旅先の町で見える景色は、旅の速度が遅ければ遅いほど解像度が上がっていきます。高い解像度のなかで出会うサステナブルな人、景色、取り組みを紹介していきます。



NEWS

ただ「サステナブル」という言葉を目にしたとき、私たちは無意識に「エコ」とそれを結びつけてしまっていますが、実際にはもっと多様な解釈が可能な言葉です。

たとえば「同じ男にフラれた女性3人が中古のスクールバスをキャンピングカーに改造して旅をした」というニュース。中古車を再利用するエコな一面がある一方、嫌な思い出を消化し、楽しい人生を続けること、つまり「人生の持続可能性」を含んでいます。

その解釈の多様さこそが、サステナブルを楽しむということに繋がることを読者に伝えるため、毎日1本以上のニュースを配信していきます。



3.メディア構成

| P E R S P E C T I V E S

上記のどちらにも分類されない、余白を持ったコンテンツ群です。

生まれたてのメディアがこれから育っていく過程で、柱となりうるコンテンツを育てる場であり、TRIPやNEWSといった枠組みでは読者に提供できない情報を伝える場でもあります。



4. ご活用のご案内

PLUGO JOURNALでは、新たな価値観を持って
読者にPRしたいことをお持ちの皆さまのサポートを行うことができます。

TRIP の活用例

宿泊施設やアクティビティ施設をお持ちの企業の方、新たな視点で観光資源をアピールしたい自治体の方、電気自動車や電動キックボードなどサステナブルなモビリティを提供しているメーカーの方などにご活用いただくのがおすすめです。

記事内で訪れる場所、使われる移動手段として、編集部がその魅力を読者にアピールするお手伝いをさせていただきます。

NEWS の活用例

PLUGO JOURNALの読者である「30～40代の高所得世帯」にPRしたいニュース（新製品、新サービスなど）をお持ちの方にご活用いただくのがおすすめです。

編集部が独自の視点でニュースを取り上げ、読者に紹介します。

PERSPECTIVESの活用例

左記のどちらにも収まらない、新たな企画を私たちと一緒に作っていきたい方にご活用いただくのがおすすめです。

実現したい目的に応じて、編集部がインタビュー記事、商品レビュー、連載記事のご執筆など、企画を一緒にご相談しながら作り上げていきます。

5. サイトデザイン

[TOP](#)

T R I P

NEWS



04	03	02	01
自宅の庭を聞く「オープンガーデン」というもてなしの文化	物語を食す。小坂眞梨が紡ぐ6000年の歴史	スロロモビリティでつながる。小坂眞梨のマイタロプーリズム	誘われる人も、幸せになれる町を誘われて



言葉の力で解像度を高める

世の中にはさまざまな社会問題が存在し、問題解決に向けて数多くの人々が精力的に取り組んでいる。その一方で、一つ一つの問題が起こっている根本的な原因について深く考える機会が少ないように思う。

たとえば海洋プラスチック問題については、海洋に流れ込むプラスチックが大きな問題となっていることは多くの人が知っているが、その原因を究めたかならないかという疑問があるだろう。プラスチックの存在自体を問題視する人もいれば、プラスチックが自然環境に流出してしまうシステムを問題視する人もいるかもしれない。では、なぜここまで問題になっているプラスチックを人々は素直に受け入れるのか、その自然環境に流出しないシステムを作ることができないのか、そこで考えていくと、さらに多くの異なる意見が出てくることになる。

社会問題を解決するためには、その背後にある根本的な原因にアプローチすることが不可欠だが、いざ原因を突き止めようとしても、なかなか一つの正解を出すことは難しいのが現状だ。なぜなら、一つ問題には色々な要因が複雑に絡み合っており、どこからその問題を論じるかによって見方が変わってくるからだ。プラスチックの問題も、技術やコストの視点から考えるか、ライフスタイルや環境の視点から考えるかで議論の中心は大きく変わる。

対話で深める、海が汚れる原因

イベント冒頭では、なぜ海は汚れていくのかについて、テクノロジーを使って環境保全活動に取り組む株式会社イカCOO（Chief Operating Officer）の竹内四季さん、NPO法人UMINARI代表理事の伊達ルークさんとスピーカーのアクティビストたちと対話を繰り返していった。まず、アート作品を見る前に、簡単に当日の議論の内容をおさらいしておく。

海の生き物たちの個性や賢りが失われている背景には、使い捨てプラスチックや家庭から出る汚水による海洋汚染が存在する。その根本を捉えていくと、そもそも規制自体がなかったり、私たちが消費した水がどこへ行くのかに興味やなかりなどの現状が見えてきた。そして、経済合理性や「環境問題」が「自然の見直し」といった、社会システムと私たちの意識の両面がこの問題の解決に向けた鍵なのではないか、という話になった。

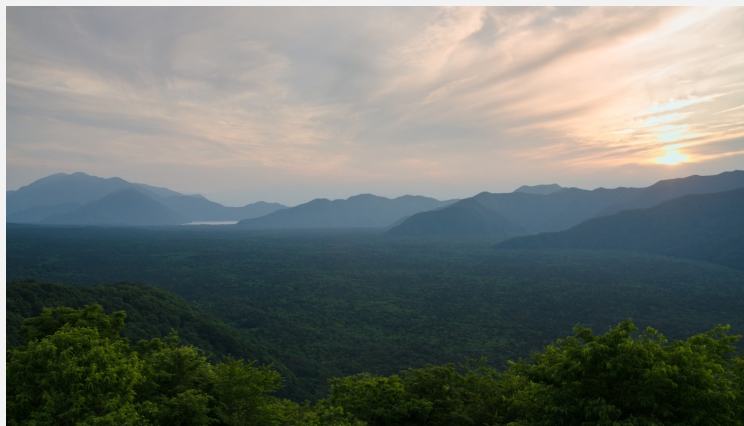
そして、この議論をもとに生まれたのが、下記のアート作品だ。



6. 特集取材先候補

現在、サイトオープンに向けて以下の2つの特集を制作しています。

1. 小管 源流の村（山梨県）



700人の村民全員がおもてなしをする、村全体が「ホテル」となっている自治体を挙げての観光プロジェクトを取材。

村の経済的な持続可能性に触れながら、豊かな水系に支えられたサステナブルな環境を紹介します。

2. 小布施町（長野県）

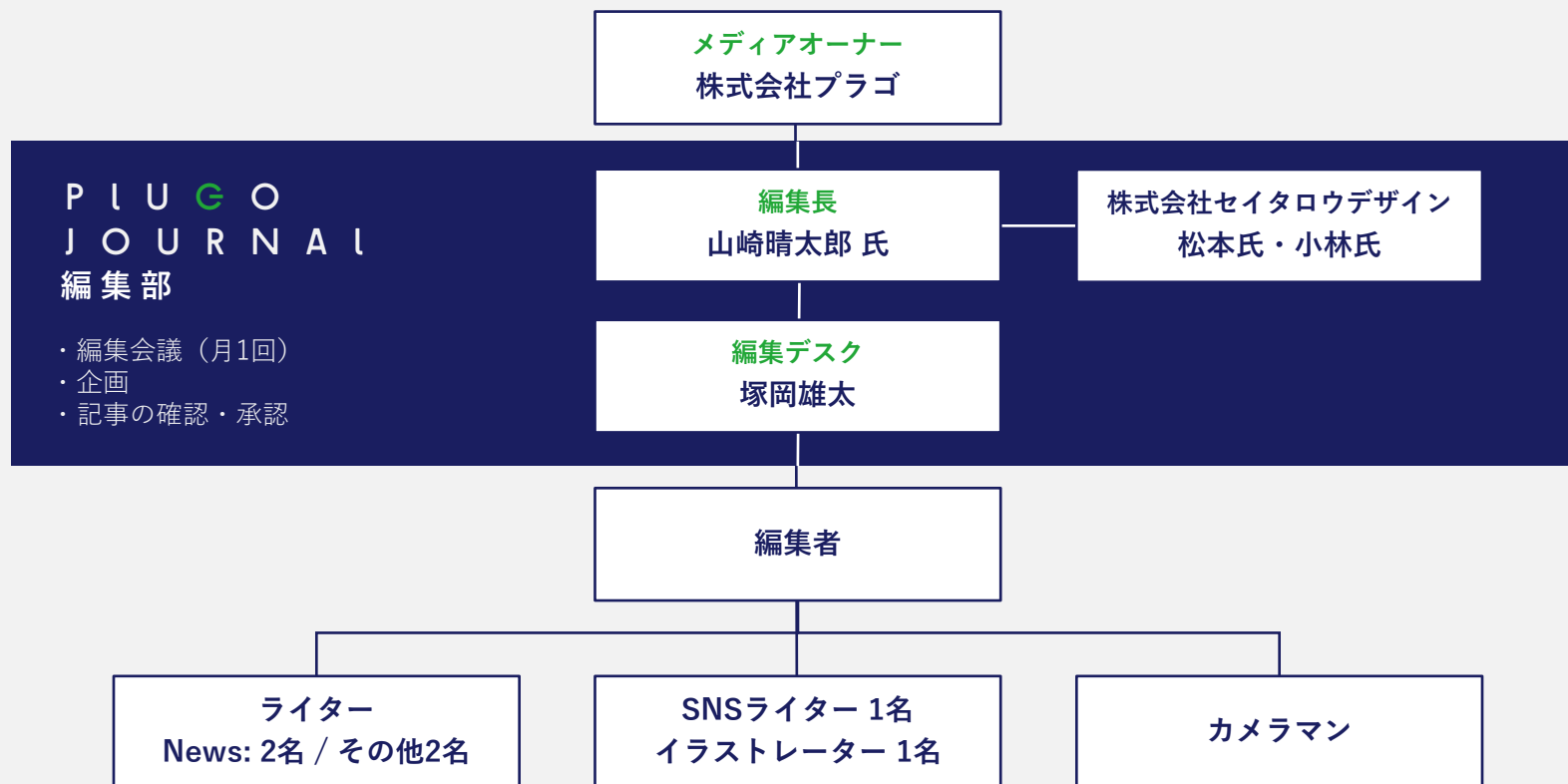


信州の山間、千曲川と豊かな森に囲まれた小布施町は、高度経済成長期とそれに伴う国土改造計画の中でも町の景観を守り、育ててきました。

その「修景活動」の取材を通じて、コミュニティの持続可能性や景観の持続可能性、そして今まさに取り組んでいるエネルギーの持続可能性を紹介します。

7. 制作体制

アートディレクター 山崎晴太郎を編集長に、
メディアの立ち上げと運用を得意とする塚岡事務所がメディア運営をサポート。
万全の体制でメディアの立ち上げに向けて鋭意、進行中です。



8. 編集長プロフィール

■山崎 晴太郎 SEITARO YAMAZAKI

株式会社プラゴ / CDO（チーフ・デザイン・オフィサー）

PLUGO DESIGN CENTER所長

株式会社セイタロウデザイン / 代表、アートディレクター、デザイナー

NPO ARTS WORKS / 理事

株式会社JMC / 取締役兼CDO

FMヨコハマ「文化百貨店」 / パーソナリティ

東京2020 組織委員会 / スポーツプレゼンテーション・クリエイティブアドバイザー



デザイン経営講義登壇実績

立教大学大学院ビジネスデザイン研究科

グロービス学び放題 <https://hodai.globis.co.jp/courses/449635bb>

デザインワーク領域（事業）

企業ブランディング、グラフィック、WEB・建築・プロダクト、ホテル開発、ウェブメディア構築、

国の重要文化財建造物の利活用や伝統産業の再構築、メーカーの新商品開発、経営コンサルティングにおけるデザイン戦略提案

アートディレクター実績

アジアデザイン賞、IFパッケージデザイン賞、JCDデザインアワード、グッドデザイン賞金賞など国内外で数多くの賞を受賞。本年6月にはイタリアの「YICCA PRIZE 2021（YICCA現代美術コンテスト / URL：<https://yicca.org/>）」を受賞

グッドデザイン賞の特別審査委員や、法務省主催デザインコンペティションの審査委員、国土交通省の有識者会議への参加など、アートディレクター、デザイナーとして国内外で活躍

9. 会社概要

会社名	株式会社プラゴ
所在地	〒141-0022 東京都品川区東五反田2-20-4 NMF高輪ビル8F
創立	2018年（平成30年）
資本金	2,500万円
資本準備金	1,000万円
主な事業内容	EV充電器及びIoTサービスの企画・開発・販売 販売製品の保守・メンテナンス EV普及に関連する情報発信
役員・ファウンダー	代表取締役 大川 直樹 チーフ・デザイン・オフィサー 山崎 晴太郎
Webサイト	https://plugo.co.jp ■PLUGO DESIGN CENTER（デザイン部門）ウェブサイト https://plugo.co.jp/design/

10. お問い合わせ

P L U G O J O U R N A L

本メディアに関するお問い合わせ先：

info@plugo-journal.com